

浜岡東芝エレクトロニクス株式会社 サイトレポート情報

所在地 : 静岡県御前崎市佐倉4231

敷地面積 : 15357m²、建家面積 : 2927m²、緑化率22.7%

設立 : 1970年4月、正規従業員 : 157人 (2009年3月末現在)

主要製品 : 半導体チップ、レーザーダイオード

ISO14001認証取得 : 1996年2月、最新更新(統合)年月 : 2008年8月

ISO14001認証番号 : EC98J2014



サイトの紹介

浜岡東芝エレクトロニクス株式会社は、遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれたこの地で光半導体(半導体チップ、レーザーダイオード)の製造拠点として生産活動を展開しています。そして環境保全活動にも全従業員で取り組んでいます。



代表取締役社長 梅地 正
(環境保全責任者)

2008年度の環境の主な取組み

☆ ISO14001 環境マネジメントシステム

1998年8月に認証取得、2007年7月に3回目の更新、2008年8月にセミコンダクター社として統合認証取得。

☆ 環境保全体制の充実

法令、条例の順守。現場管理の強化。

☆ 化学物質排出量の削減

化学物質の排出量は2007年度と比べて17%削減。2008年度目標達成(目標9%削減)。

☆ CO₂排出量の削減

CO₂(エネルギー)の排出量は、2007年度と比べて20%削減。2008年度目標達成(目標2%削減)。

☆ 廃棄物ゼロエミッションの継続

廃棄物総発生量は、2007年度と比べて28%削減。2008年度目標達成(目標3%削減)。

最終処分率は、0.01%。2008年度目標達成(目標0.4%以下)。

☆ 資材取引先に関する環境配慮

取引先に協力要請(全178社)、環境配慮資材の調達(48件)、廃棄物委託先現地確認(3件)

☆ 全員参加・啓発活動の展開

環境月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュースの発行、環境ポスター、標語の募集等。

☆ 地域との協調

地域への各種環境行事の参加(4件)、清掃ボランティア活動の参加等

製品、環境技術開発紹介

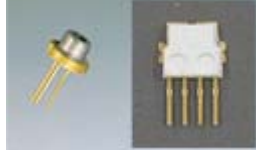
光半導体チップ



応用製品 (フォトグラ)



レーザーダイオード



応用製品 (DVDビデオ)



環境コミュニケーションの紹介

- ・環境報告書の発行 : 2005年度より毎年発行
- ・地域との交流(参加) : 鯉の稚魚放流、各種クリーン作戦
(主催) : 環境啓発ポスター・標語募集
- ・自治体等主催行事参画 : 地球温暖化防止国民運動(チーム・マイナス6%)参画、我が家の環境大臣参画
CO₂削減/ライトダウンキャンペーン参加、海岸沿いへの植樹ボランティア参加

環境方針

浜岡東芝エレクトロニクス株式会社 環境方針

－ 理 念 －

浜岡東芝エレクトロニクス(株)は、東芝グループの理念である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

－ 方 針 －

浜岡東芝エレクトロニクス(株)は、(株)東芝 セミコンダクター社グループ環境方針に基づき遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれたこの地で高度情報社会のキーデバイスである光半導体(発光ダイオード・レーザーダイオード)の製造拠点としてよりよい地球環境の実現に努めます。

また、環境への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけお客様視点でのBCM経営を図り、常にAnticipation(予測と先制)を意識し調達、製造、サービス、廃棄などの事業活動においても環境に配慮した企業活動を実践し環境配慮型半導体製品の提供によって社会に貢献することを目指します。

1. 倫理観(コンプライアンス)と継続性(サステナビリティ)

- 1) 法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準など当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境保全活動のレベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

2. 実行(エクセキューション)

企業活動の実行においては、当社に適用される全ての事業プロセスにおける環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

- 1) 生産性の向上、動力及び製造設備を中心とした省エネルギー施策の実施、物流の効率向上により地球温暖化防止を推進します。
- 2) 循環型社会構築のために、生産性の向上、3Rの取組みを積極的に進め、廃棄物総排出量の削減、水資源の受入れ量削減施策の実施により資源の有効活用を推進します。
- 3) 使用する化学物質の管理と環境排出量の削減施策の実施により、環境リスクの低減を実現します。
- 4) 環境報告書の継続的発行や地域・社会との協調連帯により、利害関係者との相互理解の促進に取り組めます。
- 5) 組織の従業員の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動を全員で実行します。

この環境方針は、社内外に開示するとともに当社で働くすべての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

平成21年 4月14日

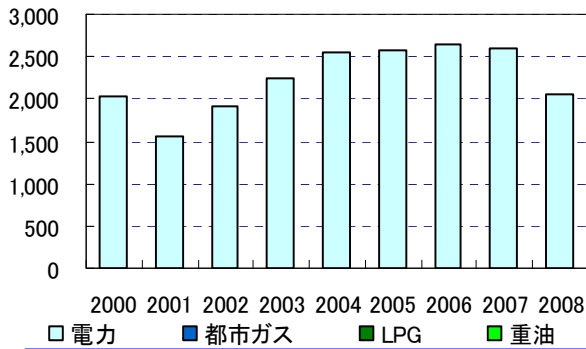
浜岡東芝エレクトロニクス株式会社

取締役社長

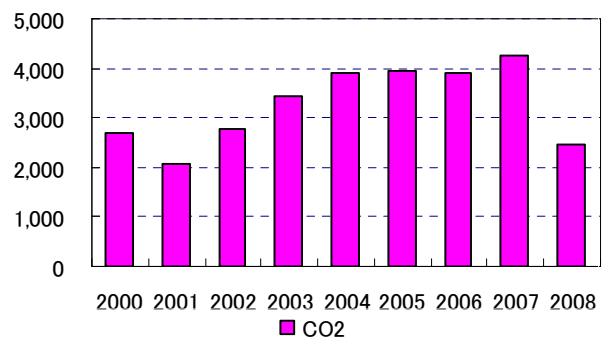
梅地 正 

環境負荷データ

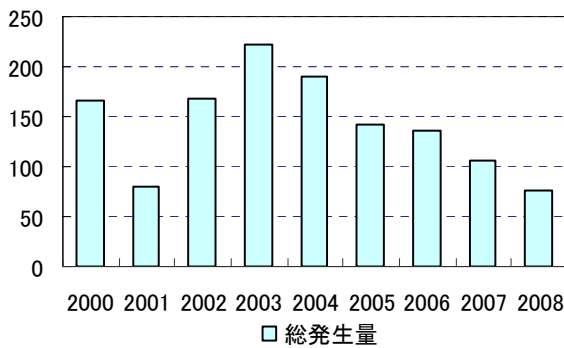
エネルギー使用量 (単位:kL)



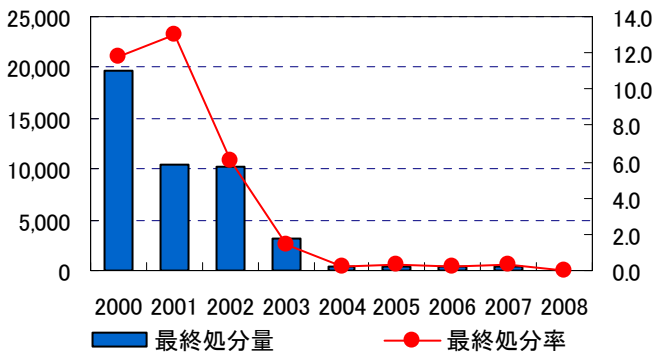
CO₂排出量 (単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位:トン)

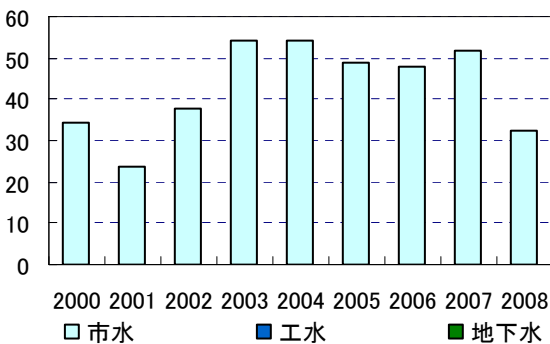


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位:kg, %)

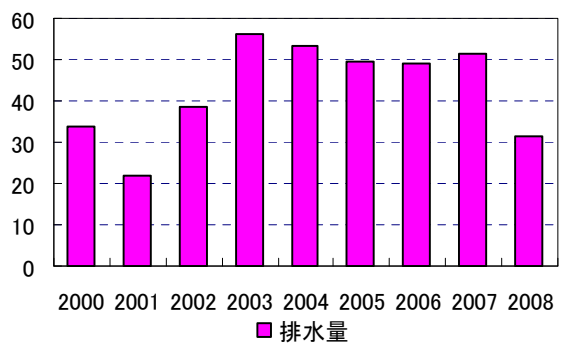


主な廃棄物名: 汚泥、廃プラスチック、廃油、金属等

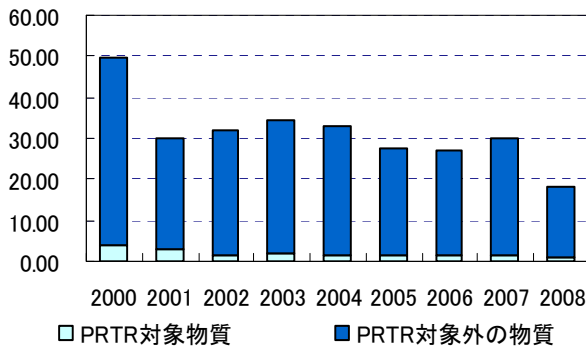
水の使用量 (単位:千m³)



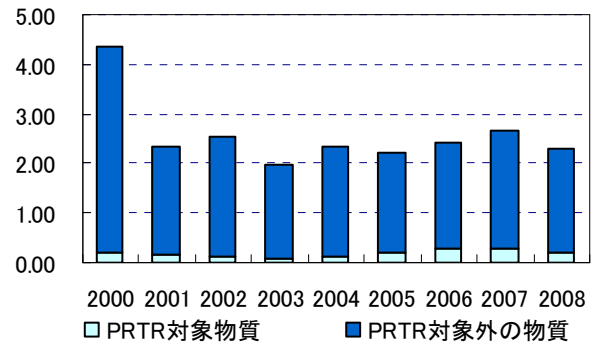
排水量 (単位:千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移 (トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移 (トン)



主な化学物質: 塩化水素、硫酸、PGME、NMP、IPA、ふっ化水素及びその水溶性塩、酢酸ブチル、メタノール

遵法管理状況

大気測定結果(対象外)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	—	—	—
SOx(Nm3/h)	対象外	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	—	—	—

排水測定結果(主な測定結果)(25施設(酸又はアルカリ表面処理施設)、河川(箆川)へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(水濁法)	6.2~7.8	6.3~7.0	月1回
BOD(mg/ℓ)	160(水濁法)	16	7.1(最大値)	月1回
COD(mg/ℓ)	160(水濁法)	16	7.1(最大値)	月1回
SS(mg/ℓ)	200(水濁法)	10	1.0(最大値)	月1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	6.4	4.7(最大値)	月1回
ヒ素(mg/ℓ)	0.1(水濁法)	0.04	<0.01(最大値)	月1回

騒音・振動測定結果(特定施設(騒音 9施設(空気圧縮機、送風機)、振動 5施設(圧縮機、せん断機))

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	70(騒音規制法)	66	57	年1回
	敷地境界:夜	60(騒音規制法)	57	57	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	70(振動規制法)	66	35	年1回
	敷地境界:夜	60(振動規制法)	57	34	年1回

その他測定結果(下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	対象外	—	—	—
SS(mg/ℓ)	対象外	—	—	—

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし